

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

いっまでもきれいなヤクスギランド
神山小学校 六年 福島 春花
「わーきれいだな」一年くらい前にお父さんと弟の太郎といっしょにヤクスギランドに行きました。木で造られた道を歩きながら周りを見ていると、お父さんが、「もうすぐ川があるけどそこですこし休もうか」と言ったのでそこで休みました。そこは大きな岩がたくさんあって、手を洗えるように川まで続いて道みたいになっっていました。弟の太郎が一番に行つて手を洗おうとしたら、なんと太郎が川に落ちてしまつて、太郎を助けようとしたお父さんも岩の上ですべつてしまいました。太郎は、近くにあって岩をつかんでいて、お父さんがひっぱり上げていました。その後、太郎は持つてきていた服にきがえて、あめとかを食べてからまた進みました。出口の近くに橋があつて、その橋が終わる所の右側の下へおりることができる階段がありました。そこをおりて行くと、浅い川がありました。

No. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましよう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましよう。

() 月 日 曜日

とても冷たくて足がしびれてしまいました。
しばらくすると、なれてきたので、お父さんと太郎と三人で小さな川のダムを作りました。砂で作ると水の勢いでくずれてしまうけど、石で作るとがんじょうに出来上がりました。とても楽しかったです。

だけど、ヤクスギランドで歩いていると中にあめなどを食べた後のゴミが落ちていました。お父さんはゴミを持ってきていたビニールぶくろの中に入れていました。出口から出

た時、ゴミは七個位でした。ゴミは、持ち帰るものだと思っ、ていしましたが、け、こうゴミがあ、たのでび、くりしました。このままど人じんゴミが増え続けたら植物がかわれてしまったり、川がよごれてしまったりするかもしれません。山に登ったりする人は、かならずゴミぶくろを持っていてほしいと思います。そうすれば登山道とかにゴミが落ちているということはあまりなくなると思っています。それでもゴミがたくさん落ちていたり、入

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましよう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましよう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
 2 段落の初めは、必ず一字下げで書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

りロで、ゴミぶくろをわたして、ちゃんどブ
 ミを持ち帰った。確かめるようにすればいい
 と思います。この緑あふれる、きれいなヤク
 スギランドやほかの山々をみんなで、いつま
 でも守っていきたいと思います。

(不許複製)

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

